



# 子どもがつくる多世代交流型ZINE『だんらんしんぶん』

コース  
自主  
事業

## 事業の概要

子どもがつくる多世代交流型ZINE『だんらんしんぶん』をパワーアップさせて発行。よりたくさんの人や団体と交流しながら、一般公開の講座やイベントを開催し、更なる多世代交流と地域貢献をめざします。

## だんらん 団欒長屋プロジェクト

■ 交付決定額 100,000円  
(事業予算 200,000円)



だんらんしんぶん役割分担の様子  
「奥付の仕上げをしたい人」「はい!」

## ◎活動の様子（平成 28 年度）

蛸池駅からほど近い「団欒長屋」、ここは、かつての長屋暮らしのように、子どもの成長を地域で見守る多世代交流の拠点をめざして3年前にオープンしました。この2年間は、「とよなか夢基金」から助成を受け、地域のユニークな人取材し、地域の情報を子ども目線で伝える「だんらんしんぶん」を発行。今年度は、地域の人を巻き込む講座やイベントも企画実施します。

講座第一弾として、「キレるから伝えるへ アンガーマネジメント講座 for キッズ」を6月25日（土）に開催しました。講師は、市在住で一般社団法人日本アンガーマネジメント協会キッズインストラクターの備後卓矢さん。参加した小学生10人は、少し緊張気味でしたが、席替えをしたり、体を動かしたりすることで、徐々にリラックスした状態に。



アンガーマネジメント講座の様子

「怒ることは、時として自分を守るために必要。怒るルール『ひとをきずつけない、じぶんをきずつけない、ものをこわさない』を守って、相手に自分の気持ちを伝えることが一番大切です」と備後さん。子ども用のワークブックを使い「最近嫌だったこと」や「その時どうしてほしかったか」など、過去に感じたことや気持ちを子どもたちに思いだしてもらいながら、解決方法を一緒に考えました。

団欒長屋代表の渚上桃子さんは、「この講座のことで問い合わせが数件あり、アンガーマネジメントが注目されていると感じました。継続して関係することでアンガーマネジメントや支援を必要としている子に届くのではないかと思います。また、今回から参加費をいただいています。助成金がなくても持続可能な取組みとなるようにしたいと考えています」。



だんらんしんぶん第9号

アンガーマネジメント講座に引き続き、だんらんしんぶん第9号の編集作業が行われました。編集作業も大詰め。子ども記者がそれぞれ担当に分かれて、広告面のイラストを書き、表紙裏の写真選びを行いました。  
※第9号は市民活動情報サロンなどで配布しています。



イラスト書き

## ◎今後の予定（平成 28 年度）

10月 お化け屋敷 1月 第10号発行

## ◎リンク

▼[団欒長屋プロジェクトホームページ](#)

▼平成 27 年度助成事業「子どもがつくる多世代交流型 ZINE『だんらんしんぶん』」活動紹介